

すいたししゃかいふくししんぎかい
吹田市社会福祉審議会

■ 令和7年度第2回 障がい者施策推進専門分科会

にちじ とき 令和8年(2026年)3月27日(金曜日)午前10時～正午

ばしょ 所:吹田市立千里市民センター 大ホール

しゅつせきしゃ 出席者:竹端委員、川田委員、佐中委員、西岡委員、槌矢委員、藤嶋委員、西村委員、富士野委員、

楠委員、川本委員、利田委員、大江委員、野口委員、白川委員、大谷委員、小澤委員

いじょう 以上16名

しだい 第:議題

1 【報告】

しゅわげんごとうそくしんじょうれいさきょうぶかい とりく
手話言語等促進条例作業部会の取組みについて

2 【質疑応答】

じきけいかく さくてい む
次期計画の策定に向けて

① けいかく さくてい とう たつてん
① 計画策定到達点

② だい 4 期 障がい者計画の課題整理

③ 障がい福祉の取組に関するアンケート結果(速報)

④ 次期計画策定の方向性

しゅわげんごとうそくしんじょうれい とりく しんちやくほうこくおよ こんご とりく
手話言語等促進条例の取組みの進捗報告及び今後の取組み

3 【グループワーク】

てーま ①: アンケート結果について

てーま ②: 市が提示した次期計画のポイントについて

1 【報告】

しゅわ げんごとうそくしんじょうれいさきょうがかい とりく
手話言語等促進条例作業部会の取組みについて

しゅわ げんごとうそくしんじょうれいさきょうがかい ぶかいちようかわたいいん ほうこく
(手話言語等促進条例作業部会の部会長川田委員より報告)

2 【質疑応答】

じ きけいかく さくてい む
次期計画の策定に向けて

① けいかくさくていとうたつてん
① 計画策定到達点

② だい きしやう しゃげいかく かだいせいり
② 第4期障がい者計画の課題整理

③ しょう ぶくし とりくみ かん ぁんけーとけっか そくほう
③ 障がい福祉の取組に関するアンケート結果(速報)

④ じ きけいかくさくてい ほうこうせい
④ 次期計画策定の方向性

しゅわ げんごとうそくしんじょうれい とりく しんちやくほうこくおよ こんご とりく
手話言語等促進条例の取組みの進捗報告及び今後の取組み

い か じょうき ぁんけん かん しつぎおとう
以下、上記2案件に関する質疑応答。

【委員】

しりょう ぺーじ め しゅわ げんごとうそくしんじょうれい だい げんじやう かだい げんじやう こうもく ちやうかくしやう
資料2の3ページ目の手話言語等促進条例の「第2 現状と課題」の「現状」の項目に、聴覚障
がい者は「大きな声でゆっくり話してほしい」が最も多くとあるが、具体的には何 % か。数値だけ
を見ると点字や手話を必要としている人が少なく見えてしまう。

【会長】

しつもん はいけい てんじ しゅわ に ーず わいしやうか
質問の背景としては、点字や手話のニーズがもっとあるはず、矮小化されているのではないかと

危険きぐを持もたれているということによよろしいか。

【委員】

はい。資料しりょうの中なかに視覚障がい者しかくしょうは点字しやを広ひろめてほしい、聴覚障がい者ちやうかくしょうは手話しやを広ひろめてほしいという意見いけんがあるが、資料2の3ページ目しりょうの「現状げんじゆ」の数値げんじゆからは、そう読よみ取とれない。

【事務局】

具体的な数値ぐたいてきはすぐすうちに回答かいとうできないが、多おおい割合わりあいであった。「現状げんじゆ」の数値すうちを記載きさいした趣旨しゆしとしては、2つある。1つ目めは、吹田市すいたしには視覚障がい者しかくしょう又または聴覚障がい者ちやうかくしょうの手帳所持者しやが約900人てちやうしよじしやいる。高齡こうれいになってから聴覚障がい者しやになり、手帳てちやうを取と得とくされた方かたも含ふくまれており、令和5年以前れいわに、完全かんぜんな無作為抽むさくいちゆうしゆつ出あんけーとでアンケートを実施じっしした際さいには、もつと低ひくい割合わりあいの回答かいとうであった。令和5年れいわのアンケートからは、年齢区分ねんれいくぶんが等分とうぶんになるように、65歳以上さいいじよう、生産年齢人口せいさんねんれいじんこう、子どもこにも3等分とうぶんして実施じっしした。その結果けつこ、一定数いつていすうのニーズにーずがあることがわわかったため数値すうちとして記載きさいした。2つ目めは、聴覚障がい者ちやうかくしょうには手話しやを使つかえばよい、視覚障がい者しかくしょうには点字しやを使つかえばよいという先入観せんいゆうかんを持もたれがちだが、ゆゆっくり話はなしたり、大おおきな声こゑで話はなすことでも支し援えんになるということをつたつたえたかつた。

【会長】

あるカテゴリーかてごりーに属ぞくする人の全体的な意見ひとと、真まのニーズぜんたいてきが必要いけんな人しんとで認識にーずのズレひつようがある。こひとれから普にんしき及ずれ啓発なする段階しりょうづくで、認識ひつようのズレなが無いような資料作りしりょうづくが必要ひつようになる。

3 【グループワーク】

今回の専門分科会では、テーマ①: アンケート結果について、テーマ②: 市が提示した次期計画の

ポイントについてという2つのテーマでグループワークを実施しました。以下に各グループから出た

意見についての発表を議事要旨として記載します。

【委員グループ2班】

①生活

・重度障がい者、強度行動障がいがある人の受け入れが不十分。

・今望まれる生活と将来望まれる生活は違う。

・今は自宅で暮らすことを望んでいても、親なき後の将来はグループホーム等での暮らしを

望むかもしれない。

・現在の話と将来の話は切り離して考える必要がある。

②人材確保

・情報発信はしているが、人材確保になかなか繋がらない。

・専門職を確保するだけでなく、専門職以外にも広く人材を確保する必要がある。

③医療

・医療へのアクセスの問題。病院に行ってもきちんと対応してもらえない。

④障がい種別

・身体障がい者は、身体の状態が悪かったり、災害時に避難ができない。

・精神障がい者は、見た目では分からないためサポートを受けることが難しい。

⑤市の職員で3つの手話ができない人が3分の1も残っているのはなぜか。

【委員グループ4班】

- ・手話を覚えたいが、手話を勉強できる場所が少ないため増やしてほしい。
- ・手話を勉強するための受講費用が高い。
- ・病院に専任の手話通訳者を増やしてほしい。
- ・急な依頼や土日に手話通訳を利用できないことがあるので、24時間利用できるような制度がほしい。
- ・手話ができるヘルパーの育成が必要。
- ・車いすでも移動しやすい道路の整備をしてほしい。
- ・車いすで利用できる飲食店が少ないため増やしてほしい。
- ・一人暮らしを望む意見があるが、在宅生活を実現できるような制度があればよい。
- ・点字費用が高いので、もう少し安くできないか。
- ・点字を請け負ってくれるところが少ないので増えてほしい。

【市職員グループ2班】

①相談支援体制はどういう役割分担が効果的か。

- ・日常的なもの、緊急的、高度なもの、身近なもの。
- ・生活困窮の場合は、「暮らしサポートセンターすいた」、成年後見は、「けんりサポートすいた」、住宅の相談は、「すまいサポートすいた(検討中)」があるが、市民にとって分かりやすいネーミングになっているか。

ねんれいとう わ こうかてき
・年齢等で分けると効果的か。

②事業所への指導監査の適切な体制。

ほうかごでいさーびす じんざいぶそく い なか じぎょうしょ ふ
・放課後デイサービスなどは、人材不足と言われる中でも事業所は増えている。

どうすればしつ たんぽ かんさ たいせい
・どうすれば質の担保ができるか。どういう監査の体制があればよいか。

どうすればじぎょうしょ はたら ひと もちべーしょんこうじょう つな よ はつしん
・どうすれば事業所で働く人のモチベーション向上に繋がるか。良いところを発信していく

ひつよう
必要がある。

③一人暮らしをしたい人がいる一方で家族と一緒に暮らしたい人もいる。

ほんにん にーず かぞく にーず なか しえん じつげん
・本人のニーズと家族のニーズがある中で、どういう支援があれば実現できるか。

ほんにん にーず かぞく にーず ふくごうか なか しかほ
・本人のニーズと家族のニーズが複合化する中で、どこまで深掘りできるか。

【市職員グループ1班】

れいわ ねん じどうふくしほう かいせい はつたつしえんせんたー ちゅうかく ちいき かんげん
・令和6年の児童福祉法の改正で、こども発達支援センターが中核となり、地域へ還元をしていく
という役割を持っている。

あんけーとけつが み じどうはつたつしえん かん りよう したい サービス あ りよう
・アンケート結果を見ると、児童発達支援に関して利用したいサービスに空きがない、利用したい
日時に空きがなく、利用ができないという意見が出ている。

じぎょうしょ じゆんかい じょうきょう かくにん てーたべーすか てだ ひつよう
・事業所への巡回をして状況の確認をしているが、データベース化してどんな手立てが必要なの
か、どこの事業所に空きがあるのかを把握してお伝えできているか。

おも みしゅうがく ひと そうだん おお さい いめーじ も たいおう
・主に未就学の子の相談が多いが、18歳になってからのイメージを持ってもらえるような対応を
していかなければならない。

はつたつしえんせんたー しょう かくしつ れんけい ほごしゃ あんしん
・こども発達支援センターだけでなく、障がい福祉室とも連携し、保護者にも安心していただき、

こども りょういく はなし ひつよう
子供の療育をどうしていくか話をする必要がある。

【委員グループ3班】

- アンケートについて、本人が回答された割合が高い。どのアンケートも回答率が50 % 以下と
いうことから、障がいの軽い人が多く回答されたのではないかと推測する。
- アンケートの結果と実態がどこまであっているのか。
- 人材確保の問題。人材が少なくなる一方で、色んなサービスはもっと増える必要がある。専門性
も向上させなければならない。使い勝手もよくないといけない。緊急性も担保されないとい
けない。
- 具体的にどんなプランで進めていくのか目標を定めなければならない。目標が達成できなかつ
たということにならないように、具体案があった方がよい。
- 障がいへの理解、周知啓発に関わることだが、障がいの種類によって必要な合理的配慮が違
うということを知らない人がたくさんいる。どうやって周知啓発をしていくかという課題がある。
- 点字ブロックの上に自転車が置かれていることを市に訴えているが、なかなか周知されていな
い。
- 親なき後のことを考えるにあたり、成年後見だけではなく、公的施設以外にも活用できる機関
と連携することを模索してもよいのではないかと。

【委員グループ1班】

- アンケートについて、身体障がいの中でも視覚障がいは何 %、聴覚障がいは何 % という
風に、障がい種別ごとに集計した結果が分かればなおよい。障がい種別ごとに割合を決めて
アンケートを実施しているが、実際にどのくらいの意見が反映されているのかが分かりやすくな
るはず。

・希望する暮らしで、家族と同居が1番という意見があったり、一人暮らしが1番という意見があったりするが、親なき後の状況を考えた時に、同じ質問でも温度差が出てしまう。

・何のためのアンケートで、アンケート結果を基に市で何をするのか。

・南海トラフ地震が30年以内に起きると言われている中で、事業所側での備蓄であったり、避難場所の確保であったり、BCP(事業継続計画)でやっているが、電源の供給が不安要素としてある。

・市で研修など専門性を高めるための事業を実施しているが、見合った研修が実施され、事業所が参加できる状況なのか。制度的な部分と実務的な部分がかげ離れていなければよい。

【委員グループ2班】

・車いすで移動しづらいという問題をどこに相談すればよいか。

・点字ブロックが整備されるのはよいが、逆にバリアになってしまうこともある。

・今年度、人材確保で魅力発信に力を入れていたが、しっかりと評価をして継続してほしい。

【委員グループ1班】

・アンケートを実施する意図を再確認。予算を確保するためにも活用される。

【委員グループ4班】

・手話バッジを職員だけではなく市民にも配布し、みんなに手話を覚えてもらいたい。

・手話を勉強したいがお金がかかるという意見があるが、事業所へ行政から補助金が交付される場合もあるので、そういう情報を周知していきたい。

・4月から自転車のルールが厳しくなるので、自転車が走りやすい道路作りも考えていきたい。

【委員グループ3班】

・複雑化、複合化した課題への対応。

・現場でも地域の人から悩ましい課題が出てきており、重層的に支援するケースが増えている。

次期計画には、地域の課題についても盛り込んでほしい。

・地域から孤立している人がたくさんいる。障がいを持っている人は赤ちゃんから高齢者まで

ライフステージを通じてきめ細やかな連携が必要。

・計画冊子は、地域の人に分かりやすく、イメージしやすい言葉で書いてもらいたい。

【市職員グループ2班】

・今までの計画冊子は関係者にしか読めないものであった。

・誰が読んでも面白い計画。ベストセラーになるような、関係者以外も読んでくれるような計画になればよい。

・障がいがある人もない人も我がことになるように、「あなたの安心につながる」ような計画に。

・障がいのことを考えるきっかけになるように。

・キャラクターを考えたり、オシャレな表紙にするなどの工夫をして、みんなに手に取ってもらえるような計画冊子にしたい。

【市職員グループ1班】

・伴走支援イコール同じ人が伴走し続けるというイメージを持ってしまいが、きちんと引き継ぎが

できるようなイメージで、伴走支援という言葉を使えるようにする。

じむきょく れんらくじこう
事務局から連絡事項

じむきょく
【事務局】

らいねんど だい かい については、れいわ ねん がつごろ かいさいよてい しょうさい き しまい し
来年度の第1回については、令和8年6月頃に開催予定。詳細が決まり次第お知らせする。

ふくしがちよう あいさつ
福祉部長の挨拶

いじょう
(以上)